

# I. イベント部会報告書（部会長 池辺 美紀）

## 1. 水辺安全教室 子どもの水辺安全講習会

開催日時：7月31日（金）、8月20日（木）、8月21日（金）、8月23日（日）9時00分～11時30分

参加実績：7月31日（金）宮崎第一中学校1年生 114名

8月20日（木）田野わにつかジャイアンツ 64名

8月21日（金）ユニバースアカデミー 38名

8月23日（日）太陽スポーツ 45名 計261名

場 所：三股町しゃくなげの森（沖水川）

体験メニュー

- ・川流れ（ライフジャケットを着用し、川の流れに身を任せ、流れを知る）
- ・水難救助訓練



自然豊かな宮崎県立鰐塚自然公園内の澄みきった溪流（大淀川支流沖水川上流）で、親子を対象に川遊び安全教室を行った。まず、子ども達には水難事故を防ぐために、履物やライフジャケットなどの川遊びにおける準備の大切さと準備体操の重要性を伝えた、また河川での事故事例（履物が流されて溺れたケース、流れや深さを確認せずに入ってしまう溺れたケース）を説明。また、澄みきったところでは浅く見えても急激に深くなる場所や流れによっては深みに向かっていくなど川の危険を学んだ。川遊び体験では川流れを通して流れの速さや水の冷たさを体感しながら、夏の溪流の素晴らしさを感じていた。保護者には、川の流れや深みなどの内在する危険や、もしもの場合の心構え、ロープにペットボトルを結んで投げる、浮くもの（浮き輪やクーラーボックスなど）で助ける、絶対に助けようと飛び込まない（つかまれて溺れて二次被害につながる）など、救助における準備品や大人の心構えを知り大変参考になったと声を頂いた。

以上のことから、河川により親しみを持ってもらい・夏に増加する水難事故を防止することを目的とした、身近な川に関する知識や安全な遊び方を学ぶ場を提供することができた。

## 2. 大淀川クリーンアップ2020 下流編

実施日：令和2年7月18日（土）

活動範囲：大淀川河口～平和台大橋 大淀川河川敷両岸

実施団体：大淀川クリーンアップ実行委員会

共 催：国土交通省宮崎河川国道事務所

参加団体：国土交通省宮崎河川国道事務所、宮崎県河川課、宮崎土木事務所、高岡土木事務所、宮崎市環境保全課、緑陽会、全建緑陽会、宮崎県建設業協会、宮崎県測量設計業協会、宮崎県浄化槽協会、宮崎県地質調査業協会、宮崎県造園緑地協会、九州電力(株)宮崎支店、九州電力送配電(株)宮崎支社、九電宮崎商友会・青年クラブ、(株)宮崎放送、東京海上日動火災保険(株)宮崎支店、(株)宮崎銀行、(株)宮崎太陽銀行、(株)井上エンジニアリング、宮崎市内ライオンズクラブ、大宮地区青少年育成協議会、宮崎総合学院、フィオーレKOGA看護専門学校、宮崎県立宮崎工業高等学校、ボランティア、NPO 法人大淀川流域ネットワーク 参加者総計 846名

収集したゴミ：燃やせるゴミ 68 袋、燃やせないゴミ 25 袋

大淀川の河口から平和台大橋の 14 区間に分かれ、参加者 846 人で河川敷と堤防上の計 34km のゴミ拾いクリーンアップ。7月の増水の影響か、ペットボトルや砂が詰まったジュース缶、お弁当のパック等のゴミが、河口に多く見られました。マイクロチップゴミになる前に、川から海に流れ出るゴミを拾うことで、地球環境の保全に寄与することが出来ました。今後も、この取り組みを継続し、ふるさとの川「大淀川」を大切にしていきます。

### 3. 水辺安全講習会の開催

開催日：令和2年10月22日（木）9時～16時半

場 所：座学 高岡交流プラザ 会議室

実習 大淀川・浦之名川河川敷

参加人数：8名

地域で水害時の救助活動や子ども達の水辺活動に携わる皆さんを対象とした、水中で安全に活動するための水辺安全講習会を開催。活動を行う際の基礎知識や技術および流水中の避難時の歩行などについて、講義と実習を通して学習しました。

当日の天気予報は午後が雨天の天気予報だったが、河川での実習は水中で安全に活動するための技術を取得には重要なプログラムであるため、プログラムの順番を入れ替えて、午前中に大淀川・浦之名川河川敷で渡河訓練を実施しました。河川の増水が見られたためロープレスキューに関しては指導者のデモンストレーションを行いました。また、午後の実習では、多目的ホールでスローロープ救助訓練とロープワークを実施しました。

参加者の意見

渡河訓練では座学で危険水位が膝の深さと聞いて疑問だったが実際に流れを体験して歩きにくさや、倒れたら起きることができないなど危険度が理解できた。また、指導者のスローロープでの真剣な救助活動を見て、準備と心構えや声かけの重要性を感じた。



#### 4. 水辺のテーブル関連イベント

水辺の利活用促進を図るミズベリングの社会実験として、より多くの人に大淀川に来てもらい、水辺のテーブルに来た人に楽しんでもらうことを目的として「+イベント」を企画して実施しました。

##### ①オープニングイベント「大きなシャボン玉を飛ばそう！」

実施日：令和2年7月23日（祝）9時～11時30分

場所：宮崎観光ホテル前 大淀川河川敷



##### ②ウナギをつかんでみよう

実施日：8月30日（日）9時～11時

場所：天満橋下 大淀川

参加人数：72名（子ども35名 大人37名）



MRT ニュース・日本養殖新聞（令和2年9月25日付け）  
に取り上げられました

#### 5. 九州河川協力団体連絡会議

##### ○宮崎圏域会議（ZOOM会議）

コロナ禍における各団体の活動、防災・災害支援チームなど4グループの紹介、流域内連携事業の推進、令和2年7月豪雨の災害の報告

開催日時：11月30日14時～16時

参加者：宮崎県内の4つの河川協力団体と国土交通省、九州連絡会議役員

##### ○九州河川協力団体連絡会議役員会

コロナの影響で集まることが難しいとの判断で、8月からZOOMで月に1度開催を決定し合計7回開催。中村代表のもとでコロナ禍における九州内の団体の活性化、流域治水などの防災、流域連携について積極的に議論が交わされた。



##### ○全体会

コロナ禍で一堂に会しての開催が難しいと判断し、ZOOMによる役員会に全ての九州の河川協力団体に参加してもらい、防災・災害支援チームなど4つのグループ発足の報告や、令和3年度の組織体制などの審議を行った。

開催日時：令和3年3月19日15時～17時

参加者 九州河川協力各団体、国土交通省河川部長など参加者約100名



##### ○九州川のWS 実行委員会

令和2年12月開催予定であったがコロナ禍で令和3年に順延が決定。実行委員会協議の結果、令和3年11月にオンライン開催とする事を決定した。

○防災・災害支援チームなど4チームが発足

令和2年7月豪雨をきっかけに「防災・災害支援チーム」が結成。それを皮切りに、連絡会議の中村代表のよびかけのもと、他にも新しいチームが誕生した。「次世代世話役」が中心となって行ってきた「River Crew Festival」チーム。九州河川協力団体に活躍する女性会員の増員を図る「Irodori-女性チーム」。また、今まで役員の一部メンバーが中心となり製作を進めてきた「九州川の情報誌 かわとも」の編集委員会も、後にこのチームのひとつに位置づけられ、九州河川協力団体連絡会議において一挙に4つのチームが誕生。



○第3回リバークルーフェスティバル

開催日：令和3年2月20日オンライン開催  
参加者 100名以上



○令和2年度河川協力団体講習会

開催日：令和3年1月23日オンライン開催  
参加者 九州河川協力団体、国土交通省など100名以上



○水防災意識社会の再構築に向けた勉強会

開催日時：令和3年1月21日 13時30分～15時30分  
5ヶ所の水防災活動の事例報告の後に意見交換会。75名が参加



九州河川協力団体連絡会議  
令和3年1月21日（木） 13時30分～15時30分  
河川協力団体による水防災意識社会の再構築に向けた勉強会 記念写真

